

あいさつ運動の好事例

玉野市立玉原小学校

(児童数195名 教職員数25名)

あいさつで心も瞳もキラキラ！！

アピールポイント

本校の児童は元気で活動的で、人懐っこい性格の子が多い。また、登下校や学習など学校生活全般において地域ボランティアの方々に支援していただいているため、地域の人との関わりも多い。

児童会が中心となる毎月のあいさつ週間には、生き生きとした笑顔であいさつ運動に取り組んでいる。児童・学校・地域の人たちの心の関わりもさらに深めていきたい。

実際の様子



取組の概要

■児童生徒の実態

明るく元気で人との関わりを喜ぶ児童が多く、あいさつや声かけ、会話などによって、心の安定と充実感を得ている児童も多い。

■活動内容

校長先生や地域の方は毎日、毎月10日の週には児童会（計画委員会）が中心となって、靴箱前に並んであいさつ運動をしている。また、あいさつ週間には「生活点検カード」で全児童が自分自身のあいさつについて、ふり返りをしている。反省の機会になるとともにあいさつへの意欲付けになっている。

■取組の参加メンバー

児童会（計画委員会）が中心となって活動。地域見守り隊、教職員も参加。

■成果・効果

校長先生や地域の方、先生達とのあいさつによって、見守られているという安心感だけでなく、児童同士が元気よくあいさつを交わすことにより、友達とのつながりを確認したり、深めたりでき、安心して学校生活を送ることができている。

また、計画委員会の児童と一緒にあいさつをしたいと言ってくれる児童がいることは、意識向上という面でも、うれしい成果といえる。